

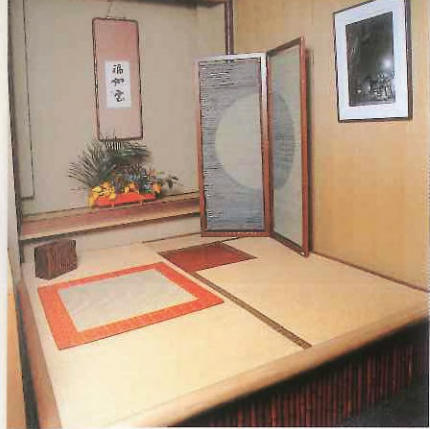


クマイ商店 (東京)

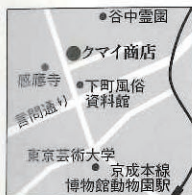
畳の老舗が考案する 「新しい畳生活」

谷中の地で三〇〇年にわたって続いてきた老舗。畳づくりの技術を伝承していく一方、現代住宅に合った「新しい畳生活」の提案も積極的に行っています。「畳の独特の感触は日本人が長年親しんできたものですし、自然素材のみを使った、いわば、呼吸する床材。湿度の高い日本の気候にとても合っています。洋式化した生活の中にも畳を取り入れて、居心地のよ

い、魅力的な空間をつくることができると思います」と熊井芳孝社長。ヘリを選べる琉球表の置き畳や備後畳表の押敷き、中に収納スペースがある畳の三角スツールなどを考案しています。
(熊井さんの畳講座は、二二八ページへ)



左上写真の敷物は、押敷き。適度な厚みがありゆったり座れる。一万〜二万五〇〇〇円。



クマイ商店
東京都台東区上野桜木2-13-3
☎03(3823)0901
🕒9時〜18時 第4土曜以外の土曜・日曜定休
交通/JR日暮里駅下車、徒歩10分

東京松屋 (東京)

職人技を尽くした「江戸からかみ」のよさを 現代に生かすための提案がいっぱい

元禄三年の創業以来、三〇〇年にわたって江戸襖紙の伝統を守り続けてきた老舗。プリント柄の襖が大半を占める現在も、唐紙師、砂子師、更紗師ら職人の技を尽くした「江戸からかみ」づくりに取り組んでいます。

また、普及活動の一環として、現代の住宅に襖としてだけでなく、いろいろな形で「江戸からかみ」を取り入れる提案も行っています。「光の当たり具合で微妙に表情を変える唐紙の美しさは空間に潤いを与えます。絵のように額に入れて飾るだけでも、職人さんの手のぬくもりが空間に伝わってくるような感じがするはずです」と十八代目社長の伴 充弘さん。二階建ての店内には「江戸からかみ」を使ったロールスクリーン、照明、衝立なども飾られています。



。本体は檜。1万5000円。

東京松屋
東京都台東区東上野6-1-3
☎03(3842)3785
🕒9時〜17時 日曜・祝日定休
交通/JR上野駅下車、徒歩8分
地下鉄銀座線新荷町駅下車、徒歩2分

諸国民藝銀座 たくみ (東京)

柳宗悦の民芸運動の一環として昭和八年に開店された、歴史のある工芸店です。宗悦がつけた店名の「たくみ」とは優れた手の技のこと。その名のとおり、人の手によって丁寧につくられた全国各地の、そして海外の工芸品や民芸品が集められています。一階には陶磁器やガラス器など、二階には染め物や織物、家具、木工品などがフロアいっぱいにディスプレイされ、どれも思わず手にとってみたくなるほど魅力的です。ことにさまざまな風合いの染め布や織物はテールセンターやのれんに、または袋物にと楽しみ方も自在。

福島の紋刺し子こたつ掛け (朱)
200×240^{cm} 3万円 紋刺し子
クッション 45×45^{cm} 4100円



諸国民藝銀座 たくみ
東京都中央区銀座8-4-2
☎03(3571)2017
🕒11時〜19時 日曜・祝日定休
URL=www.ginza-takumi.co.jp
交通/JR新橋駅下車、徒歩5分

クラフトギャラリー「M」 (東京)

一度は見ておきたい 圧巻の「壺」フロア

一一年前に現代作家の器を扱う店としてオープンした「クラフトギャラリーM」。一階には全国各地の器が、二階には壺が展示されています。なんといつでも圧巻は二階の壺のフロア。江戸時代以前のものから、明治・大正のものまで大小さまざまな壺がずらりと並んでいます。「壺はまさに用と美を兼ね備えたもの。長年日常に使われて生きてきた強さがあるのに、実際に花を生けてみると花を引き立ててくれるんです」とオーナーの清水まゆみさん。「消臭のために炭を入れて部屋に置いたり、傘立てに、鉢カバーにといういろいろ使えるところが魅力ですね。」

柔らかな輪郭でどこか優しい
大壺。一万二〇〇〇円〜



クラフトギャラリー「M」
東京都目黒区自由が丘1-19-23
☎03(5701)3536
🕒11時〜18時 日曜・月曜定休
交通/東急東横線自由が丘駅下車、徒歩10分

